

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	新鎌ヶ谷駅周辺地区市街地整備促進事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	2	○
政策	魅力あふれるまちづくりを進めます	担当課室	都市計画課			
施策	広域交流拠点の整備	担当課室長	横山 吉治			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	土地活用の方策について、実現可能な範囲の内容について、将来のまちづくりに活用できるよう位置づけを行うため業務に取り組む。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	中街区を中心とした回遊性を確保し、各街区を行き来できるよう関係機関との調整を行う。
②①に基づく取組み結果	土地活用の方策を実現させるための基礎調査を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	新鎌ヶ谷駅周辺地区	意図(対象をどうするのか)	地区の回遊性や利便性の向上を図る
②事務事業の概要	新鎌ヶ谷駅周辺地区が、魅力と活気にあふれる広域交流拠点として形成されるよう、土地利用の推進や通路の整備等を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	東京10号線延伸新線の事業化の検討中止や、新京成線連続立体交差事業の進捗に伴い、新鎌ヶ谷駅周辺地区における土地利用の形態に大きな変化が見込まれる時期であるため、上記事業への取組みが非常に重要である。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	新鎌ヶ谷駅西側地区に関して、将来を見据えた土地活用のあり方を整理すべく、基礎調査を実施した。					
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	算定根拠
	i	新鎌ヶ谷駅乗降客数	102,916	103,942	83,045	人/日 業務取得
	ii	新鎌ヶ谷地区事業所数	249	267	267	件 業務取得
	iii	新鎌ヶ谷地区市街地整備促進事業進捗率	65	65	65	% 業務取得
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳		令和3年度予算	
事業費(千円)	0	0	金額(千円)	内容	9,220	
国支出金(千円)			0			
県支出金(千円)						
市債その他(千円)						
一般財源(千円)		0			9,220	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	新鎌ヶ谷駅利用者の利便性や駅周辺の回遊性を高められるよう関係機関との調整を整える必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	広域交流拠点として、更なる魅力づくりを進めていく必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	新鎌ヶ谷駅西側地区の基本構想策定	令和2年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	基本構想基礎調査を行った。	7,000	7,000	当初	7,000	0	R1からの繰越	
③達成状況	未完了			R1⇒R2繰越			現年分	0
				補正				
④未完了・非着手の理由	新型コロナウイルス感染拡大の影響により不測の時間を要したため	令和3年度への繰越額(単位:千円)				7,000		